※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3037

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）コーラス基礎	単位数	１単位	年次	１～４年次
使用教科書	なし						
副教材等	担当者作成プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

正しい発生方法や読譜力を身につけたり、多くのジャンルを学んだりし、自分に合ったスタイルを見つけて、音楽の幅を広げます。

２　学習の到達目標

（１）発声法および楽譜の読み書きの知識を身につける。
（２）発声や演奏において自分らしさを表現できる。協調性を持ってハーモニーを奏でることができる。
（３）積極的に曲を理解しようとし、発声や演奏に取り組むことができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	正しい発声法や、ハーモニーをつける能力を身につけている。正確に音符を読む能力を身につけている。音楽の文法や楽譜の文法等の知識を身につけている。	自分らしさを発声や演奏で表現することができている。 曲を理解し、協調性を持って発声、演奏することができている。 自分の好きなスタイル（曲調）を見つけることができている。	集中して演奏を鑑賞することができている。 積極的に発声することができている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月～9月	発声と楽典	発声練習	a:正しい発声方法ができる c:積極的に発声することができる。	発声テスト		発声テスト
		演奏を鑑賞する 演奏する	a:楽譜を読むことができる。 b:個性的に表現することができる。 c:終始、集中して演奏を聴くことができる。	演奏テスト	演奏テスト	鑑賞態度 レポート提出
		ハーモニーを多人数で作り、発表する	a:正しい発声ができる。 b:協調性を持ち、ハーモニーを奏でることができる。	発表	発表	
10月～12月	音楽史	ルネッサンス期から現代のボイスパーカッションまでを学ぶ	b:さまざまな曲に触れ、自分の好きな曲を見つけることができる。 c:各時代の音楽を知ろうとすることができる。		プリント	プリント
		演奏する	a:正しい曲調で演奏することができる。 b:協調性を持ち、演奏することができる。	演奏テスト	演奏テスト	
1月～2月	編曲	和声を学ぶ	a:和声について理解し、知識を身につけることができる。	ペーパーテスト		
		メロディーに対して心地よいハーモニーをつける	a:心地よいハーモニーで演奏することができる。 b:音楽の流れを充実させ、演奏者の喜びと聴衆の喜びを感じられるような演奏をすることができる。 c：積極的に発声、演奏に取り組むことができる。	実演	実演	実演

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度